

令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和8年2月7日(土)

学校法人 清麗学園

1. 本園の教育目標

- ①たくましい活動力とそれを成し得る健全な心身を持つ子ども
- ②自分で考え、感じ、生き生きと自主的に行動することのできる子ども
- ③社会生活の正しい習慣が身についた子ども
- ④豊かな情操と共に、創造性のある表現ができる子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

非認知能力/人間力を育む“2歳児に特化した教育的な独自カリキュラムを開発し、運営する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

	評価項目	評価	取り組み状況
1	2歳児カリキュラムの開発	C	モンテッソーリ教育を一部取り入れた2歳児に特化した新カリキュラムを初めて実践におろした。あえて保育スタイルを変えた技法を用い、保育観を広げる必要があり、教諭間での感覚の共有が大変だった。コミュニケーションを取りながら、2年目に臨みたい。
2	英語教育	A	別紙英語活動報告書のとおり、外国人や外国語に日常として触れさせ、子どもたちの、英単語の知識、異文化・異国の生活習慣への興味を広げることができた。新たにモンテッソーリ教育に長年携わるアイルランド人教諭がチームに加わったことで今後もさらに良いイベントが企画できると思う。

4. 総合的な評価結果

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

評価	理由
C	2歳児の教育的伸びしろは大きく、やりがいがあった。新カリキュラムをさらに精査のうえ、改善を加えていきたい。効果的なカリキュラムにし、年少保育につなげたい。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組む方法
1	環境	定期的に設備・建物の総点検を行う。早めの修理・修繕を計画し、安全な園庭・園内環境を保持する。

6. 学校関係者評価委員会の評価

仏教行事ならびに季節行事が園の教育活動に計画的かつ継続的に組み込まれており、在園3年間を見通した子どもたちの心身の成長が丁寧に育まれている。各行事においては、子ども一人ひとりの主体的な姿や成長の跡が確認でき、園の教育方針が日常の保育実践を通して着実に具現化されていることがうかがえる。また、英語教育においては、ネイティブ講師による指導体制と独自に構築されたカリキュラムのもと、質の高い教育が安定的に実施されている。英語劇で見られた堂々とした発話や表現力は、その成果を端的に示すものであり、子どもたちの自信や達成感の育成にもつながっている点を評価したい。

